

## 令和6年度第2回 恵庭市行政改革推進委員会 会議録

### 1 日 時

令和6年12月23日(月) 14:00～16:15

### 2 会 場

恵庭市役所 第2・3委員会室

### 3 出席者

○委員 ～ 横山委員長、高野副委員長、吉岡委員、大森委員、三浦委員、庄内委員、石上委員、池田委員（オンライン）

（欠席：木村委員、伊藤委員）

●横道副市長

●事務局 ～ 野村企画振興部長、高橋企画振興部次長、藤本企画課主幹、小井企画課主査、船田企画課主任主事

●事業担当課～小路介護福祉課長、上山介護福祉課主査、伊藤まちづくり推進課主幹、遠藤まちづくり推進課主査、渡辺企画課主幹、吉成企画課主査

○傍聴1名

### 4 内 容

#### 【委員長挨拶】

本日は議事のうち、特に議題2および議題3に時間をかけていきたい。

#### 【議事】

<報告1 令和6年度第1回行政改革推進委員会におけるご意見・ご質問への回答>

#### ●事務局

資料P1～P7に基づき説明

#### ○委員長

今の回答について、意見や質問はあるか。

○全体<意見なし>

#### ○委員長

この件については、質問等ないので以上とする。

## <議題1 行政評価マニュアルに基づく市民参加状況の進捗管理>

### ●事務局

資料 P8～P37 について説明。

(要旨)

市民参画の機会を保障しているかどうかを行政評価マニュアルに基づき、専門部会で評価した。資料 P8 は令和5年度事業について、適切な市民参加手法がとられていたかを後年次に検証した結果をまとめたもの。すべての事業で適切な市民参加手法が実施されたと評価している。資料 P26 は令和6年度事業について、市民参加の予定をまとめたもの。専門部会においてすべての事業で適切な市民参加手法が計画されていることを確認した。

### ○委員長

事務局から説明があったが、意見等あるか。

### ○E委員

資料 P8 の整理番号 16「いじめ防止基本方針の改定」は、加害者に対してもカウンセリングするようなことはやっているのか。

### ●事務局

担当課に確認して、後日回答する。

### ○G委員

事業はどのように選択するのか。

### ●事務局

全庁に照会して取りまとめている。行政評価マニュアルにどのような場合に市民参加を求めなければならないかが示されており、市の裁量の余地の有無、市民と市との協働の度合いや必要性についてフロー図を用いて判断している。

### ○G委員

その年度に実施した事業すべてが対象ということか。

### ●事務局

はい。

### ○B委員

資料 P8 の整理番号 4「令和7年度からのゴミ処理手数料について」があるが、これはどういうものか。

●事務局

資料 P12 に調書がある。ごみ処理手数料の改定の際の市民参加度のチェックを行うもの。

○B委員

改定するというのは引き上げするということか。

●事務局

そうである。

○B委員

担当課の説明を昨年聞いたが、引き上げとなるプラス要因だけで考えており、もっと根本的なところから考えてほしいと思っている。

●事務局

今までの手数料の算定の考え方から、新たな算定の考え方に見直しを行った。概要を一言でいうと、今まで積算に入れていなかったものを入れたというもの。  
令和5年度の取り組みであり、すでに手数料改定については決まったものであるが、担当課にお伝えする。

○B委員

ある自治体では、粗大ごみをメルカリで売って、年間100万円の収益をあげたようだ。恵庭市でもぜひ検討してほしい。

●事務局

物品の管理や費用対効果など様々な角度の検討が必要と思うが、担当課に申し伝える。

○B委員

「だからできない」と言うのではなくて、発想の転換をしてほしい。

<議題2 令和4年度からの事務事業評価対象事業進捗管理（4事業）>

●事務局

資料 P38～P42 について説明。

（説明要旨）

昨年度の事務事業評価で次年度以降も進捗管理の必要性があるとの評価であった4事業について、今年度も継続して進捗確認をする。委員の皆さまからご意見を伺いたい。

## 【スポーツ管理施設費（パークゴルフ場）】について

### ●事務局

資料 P43～P45 に基づき、これまでの経過と今年度の専門部会の 2 次評価内容を説明。

### ○委員長

事務局から説明があったが、意見等出していただきたい。

### ○D 委員

利用料をもらうと、管理費が増えるということか。

### ●事務局

有料コースと無料コースでは、草刈の回数など施設整備のグレードが違っている。有料化するとなれば、整備費をかけていくという点で委託料が上乗せになる。

### ○D 委員

だいたいどのくらい増額になるのか。

### ●事務局

事務局では、金額は把握していない。

### ○D 委員

他市の無料のパークゴルフ場は、草は伸びていてトイレも汚かった。それに比べると無料のところでもそれなりに手入れをしていて満足度はあるかと思う。

### ●事務局

パークゴルフ人口の減少に伴い、近隣のパークゴルフ場が規模縮小しており、所管課としては千歳市との相互利用などを含めて検討していくということで、今すぐ有料化するものではないと考えているところ。

### ○F 委員

利用者数と整備費用を考えると、どこかを減らしていいコースを作る方が利用者にとってはよいのかもしれない。車で移動されるのであれば、地域毎にコースがなくてもいいのかもしれない。

### ○G 委員

恵庭市民以外が使う場合もあるのか。

### ●事務局

市外利用もある。料金は市民よりも高くなっている。中央パークゴルフ場（36 ホール）だ

と、恵庭市民 65 歳以上が 400 円、65 歳未満が 600 円。市外料金は 1,000 円。

○委員長

パークゴルフ人口はずいぶん減っているのか。

○A 委員

利用者が高齢化して行かなくなってきているのでは。無料を有料にするという考え自体が時代に合わないのではないか。だから本件の進捗管理はやめて、別のスキームを考えるということだと思う。

### 【スケート場維持管理費】について

●事務局

資料 P46～P48 に基づき、これまでの経過と今年度の専門部会の 2 次評価内容を説明。

○委員長

サウンディング型市場調査とは何か、事務局から説明願いたい。

●事務局

おおまかにいうと、民間事業者に意見を求めたい事項についてホームページ等で公表し、意見の聞き取りを行うもの。

○G 委員

サウンディング型市場調査はホームページでやるものなのか。

●事務局

市ホームページで公表し、周知している。

○委員長

スケート場の利用状況はどのようなか。

●事務局

学校の授業でスケートをやっており、冬休みには子どもたちが練習している。令和 5 年度は暖冬の影響で開設 22 日で、利用者 7,320 人。近年の平均だと開設 38 日、利用者 11,154 人。

○委員長

令和 4 年度予算時における指摘事項に「学校スケートリンク及び市民スケート場の統合を検討」とあるが、その議論は今どうなっているか。

●事務局

学校にスケートリンクを張っているところと、バスで市民スケート場まで来ているところがある。スキー授業の学校もある。

○F委員

スキーは用具にお金がかかる印象があると思うが、スケート用具も使用回数も少ないままサイズアウトしてしまい、負担が大きい。私の周りの保護者は、温暖化もあるしスケートはなくてよいと言っている方もいる。天候に左右され、指導する教員も大変だと思う。本当に数日しかできないので、学校にリンク作る費用を考えるとバスで市民スケート場に移動の方がよい面もあると思う。ウィンタースポーツを楽しむことは、学校の授業で大切なことだと思う。

○F委員

夏場のスケート場を有効活用できればよいと思う。ただ、暑くなってきているので日差しを遮るようなものがないので使うのも大変かもしれない。エスコンフィールドでイベントをやっている恵庭の方もいるので、地域で開催してもらえるような仕組みづくりができればよいと思う。

○D委員

観光と一緒に考えるのもいいかもしれない。イベントやキッチンカーで集客につなげることができるとは。

○委員長

サウンディング型市場調査をしても参加する事業者がいない可能性もあるのか。

●事務局

いない可能性もある。所管課は、スポーツ施設全体について次期計画策定を通して考えていく予定。

○C委員

市民の方が無料で体動かせる場所があるのはよい。何でも使うたびにお金がかかるというのは健康維持にとってはどうか。トータルで考えていくのがいいと思う。

○委員長

意見が色々出たが、どのようにまとめるか。

○A委員

次年度も進捗管理を続けるという専門部会の意見となっており、委員会としても継続でよいと思うがいかがか。

<賛同の声>

○委員長

では、そのようにする。

**【台湾経済交流推進事業費】について**

●事務局

資料 P49～P51 に基づき、これまでの経過と今年度の専門部会の 2 次評価内容を説明。

○B委員

国際交流の関係はどのように進んでいるのか。

●事務局

市が行っている事業としては、「日本語ひろば えにわ」を月 2 回実施している。ボランティアを中心に進められており、市が事務局を担っている。そのほか行事として、先日はクリスマス会を北海道文教大学と連携して実施した。また、9 月には全市的なイベントとして多文化共生フェスタを開催し、様々な国の方がブースを開いて、その国の特色、文化を紹介し、1,000 名以上の方が来場している。

○委員長

この事業はどんなきっかけで始まったのか。

●事務局

平成 27 年度に北海道主催の台湾投資拡大セミナーに参加したことをきっかけに平成 28 年度から事業を実施した。

○委員長

主に訪日教育旅行を積極的に行われ、それがあがる程度実績があがったので終了としたという内容となっているが、ほかにご意見はあるか。

○C委員

台湾からの観光客が増えたという調書に書いてあるが、実感としてどうか。道内全体では増えていると思うが、恵庭も増えたのか。

○D委員

一時期は、教育旅行に来ていた。台湾から小学生が来て、バスケットボールの交流試合をしていた。

○A委員

令和5年7月にも15名がバスケットボールの交流を行っているようだ。

●事務局

恵庭を知ってもらうことにつながったと考えている。

#### 【観光推進事業費】について

●事務局

資料P52～P54に基づき、これまでの経過と今年度の専門部会の2次評価内容を説明。

○D委員

不明確だった1,000万円が明確化したということなのか。

●事務局

観光協会の委託費であり、もともと内訳としては大部分が観光案内所の人件費である。課題となっていたのは、事業の効果をより上げるよう改善に取り組むという部分。担当課が観光協会への働きかけすることにより、観光協会の主催事業が実施されるなど前進がみられたことから、専門部会は収益事業の検討について継続して取り組むよう意見を付して、次年度の進捗確認の必要性は無しとした。

○D委員

目に見えて、売り上げを上げる機関ではないので難しそうだ。

○D委員

道の駅は改修後、お店が物足りないと感じる。

●事務局

以前に比べると、売り場面積も広がって品数も増えており、売り上げも上がっている。

○A委員

道の駅に出店しているキッチンカーから場所代はとっているか。

●事務局

とっている。

○委員長

本件についての他に意見がなければ、以上とする。

### <議題3 令和6年度からの事務事業評価対象事業（3事業）>

#### ●事務局

資料 P55 について説明。

(要旨)

令和6年度からの事務事業評価対象は、財政課による予算査定の中で懸案として改善検討を示唆した9事業の中から、調書をもとに専門部会により3事業を選定。専門部会が事業担当課にヒアリングを実施し、2次評価を行った。本日は、事業担当課が事業概要や実績、課題などを説明するので、委員の皆さまからご意見を伺いたい。

#### 【有償サービス事業費】について

#### ●介護福祉課

追加資料 P1 に基づき説明

#### ●事務局

資料 P57 に基づき、専門部会による2次評価結果について説明

#### ○委員長

委員のみなさんからのご質問等を受け付ける。

#### ○D委員

1時間程度のお手伝いをしてもらうといくら程かかるのか。

#### ●介護福祉課

基本的に30分程度のお手伝いを想定しており、30分350円。

#### ○D委員

ボランティアの方が訪問する際の事故などに対応する保険には入っているのか。

#### ●介護福祉課

ボランティア保険が適用される。

#### ○委員長

同様の事業をやっている自治体は他にあるのか。かゆいところに手が届くようなサービスを始めたというのはよいことだと思う。高齢者や妊婦などのニーズを捉えており、費用対効果だけでははかれないものがある。経費も大きくかかるものでないし、こういう事業があることは誇りではないか。

○C委員

すばらしい取組だと思う。どのように周知に取り組んでいるか。

●介護福祉課

地域包括支援センターを通じた周知や社会福祉協議会による周知を中心に行っている。昨年からは北海道文教大学看護学科の地域フィールド実習の中で普及チラシを作ってもらったり、大学内にボランティア協力者募集のポスター掲示をしてもらった。このほか、医療機関には、退院時にインフォーマル事業として利用の呼びかけ、町内会等への周知、社会福祉協議会広報誌への掲載、子育てガイドブック「えにわっこ」への掲載などを行っている。

○C委員

ファミリーサポート事業は、自分が利用者としてお世話になったら、次は協力者になるという循環がある。この事業はそれが難しいので、知ってもらうことに一工夫必要なのだと思う。大学生を巻き込みながらやっているのもよい。いろんなやり方で周知に力を入れて頂きたい。

○B委員

私の家にも社会福祉協議会から「なんもだよ」のチラシがくる。一人で住んでいる高齢者も多く、良い事業なので続けてほしい。

○E委員

医療機関では退院時に利用の呼びかけをしているとのことだが、通院の人にも周知できるように病院にチラシを掲示することもしてもらいたい。

○D委員

恵庭市公式アプリ「えにわか」での周知はしているか。していないのであれば、やってみてはどうか。

●介護福祉課

周知の仕方を研究していく。

○委員長

これは介護福祉課の職員が事業のアイデアを出したのか。

●介護福祉課

地域包括支援センターから、灯油タンクを上階に運べなくて困っているという話がきて、そういうサービスができたらいねとなった。他にもガーデニングをされていた方が高齢になって手入れが難しくなっているという話など、様々な生活上の高齢に伴う相談事が出

てきたことがきっかけでサービスを作った。

○A委員

実績が伸びてきて、令和6年度は11月時点で相談件数225件、マッチングは157件となっている。利用にあたって事前に面談するとなると、件数が増えてくるとかなり大変だと思うが、事業を続けていけるのか。件数がまだ伸びてきても大丈夫か。

●介護福祉課

地域包括支援センターであったり、生活支援コーディネーターという地域づくりの専門員がいるので、そういう方と連携して情報を得たりとかそういう中で当面担っていけると考えている。

○A委員

冬の除雪、屋根の雪おろしは社会福祉協議会でやっている除雪事業に回しているのか。

●介護福祉課

本サービスは、社会福祉協議会の除雪事業には該当しない方が対象となる。本サービスの対象とならない方から相談が来た場合は、適切なサービスにつなげている。

○委員長

本件は専門部会の2次評価と同じようでしょうか。

<よいの声>

○委員長

では、本件は以上とする。

**【移住促進事業費】について**

●まちづくり推進課

追加資料 P2～P5 に基づき説明

●事務局

資料 P61 に基づき、専門部会による2次評価結果について説明

○委員長

委員のみなさんからのご質問等を受け付ける。

○D委員

市内に住宅を建てる土地がないと聞くと、移住というのは家を新築して引っ越してくるのか、それともアパート等の賃貸をターゲットにしているのか。

●まちづくり推進課

まずは賃貸を望まれている方が多い。新築については、移住後に住宅メーカーと相談されながら、一戸建てを新築されている。

○D委員

移住者同士の交流会は頻繁に行われているのか。

●まちづくり推進課

今年度は年3回。8月、11月に行っており、2月に3回目を行う予定。

○D委員

そこには移住を迷っている人も参加するのか。移住してきた人だけか。

●まちづくり推進課

移住者交流会は、恵庭市に移住してきた方に案内を出している。移住を迷われている方を対象とした取組は相談会。本州に出向いて行って1組あたり30分～1時間くらいかけてじっくり相談を受ける。今年度、東京会場は職員6名体制で臨み、大変盛況であった。

○委員長

ラピダスの影響があると思うが、住宅用の土地はあるのか。移住事業への影響はあるか。

●まちづくり推進課

移住促進事業としては、住みやすさをPRするのがミッションであると考えている。まちづくり推進課では都市計画についても所管しており、都市計画マスタープランという、市のまちづくりの計画を見直して将来的に市街地の拡大も検討していくことにしているところ。そちらがうまくいけば、移住促進事業でPRするといった形で進んでいくものと考えている。

○D委員

新しい住宅地も大切だが、島松地区では自然減もあるのでそれをうまく活用していくというのも大事だと思う。

●まちづくり推進課

市内に既存住宅をお持ちの方で将来施設に入るので空き家になるとか、親族から不動産を受け継いで使う予定がないとか、そういった方に対して活用方法を教える「住み替えセミ

ナー」を行っている。そういった既存住宅の住み替え促進といったことも移住事業の中で取り組んでいる。

○C委員

好きな方は自分でリノベーションして住んだりするので、値段が安ければ少々荒れていても選択肢のひとつになるかもしれない。

●まちづくり推進課

以前は空き家は更地にしなければ売れないという印象があったが、今は中古の住宅を安く買われて、リフォームする方がよいという方も少なからずいる。そういった部分もセミナーで啓発している。

○G委員

U I J 移住支援金の「U I J」というのは何か。

●まちづくり推進課

Uターン、Iターン、Jターンのことである。Jターンは故郷から、都会に移住したあとに故郷に戻るのではなく、故郷に近い地方都市に移住すること。この動きが「J」の字に見えることからJターンと呼ばれる。

○G委員

この補助金は北海道からお金がでるのか。

●まちづくり推進課

道補助であるが、その財源は国費 1/2、道費 1/4 の負担となっている。移住事業をやっているほとんどの自治体で、この支援金事業をやっている。恵庭市はこの補助がないと人が来ないようなまちなのかというとそんなことはないと思っはいるが、横並びでやらざるを得ない部分がある。

○委員長

本件は専門部会の2次評価と同じようでしょうか。

<よいの声>

○委員長

では、本件は以上とする。

## 【ふるさと納税事業費】について

### ●企画課

追加資料 P6～P7 に基づき説明

### ●事務局

資料 P63 に基づき、専門部会による 2 次評価結果について説明

### ○委員長

委員のみなさんからのご質問等を受け付ける。

### ○D委員

寄附額のうち返礼品に使える割合は決まっているが、お礼の手紙や気持ちが伝わるようなものは入れているのか。リピートしてもらうための取り組みをしているか。

### ●企画課

返礼品のほかにお礼状や寄附金の使途についての手紙を出している。手紙にはQRコードを付けて、こちらからも申し込めますといった形で申込サイトの情報を流したり、過去に寄附いただいた方にダイレクトメールで返礼品の紹介したり、寄附金の使途をお知らせする取組をしている。

### ○委員長

返礼品のビールはサッポロクラシックの申込が多いのか。

### ●企画課

サッポロクラシックが一番人気。サッポロクラシックは恵庭市しか出していないが、黒ラベルやエビスビールは他の自治体も出しており、寄附額で選ばれる部分があるので、事業者と協力して、競争力のある価格にする工夫をしている。

### ○G委員

寄附受入額は道内で何番目くらいか。

### ●企画課

13 番目。

### ○C委員

長期戦略になるが、富良野のホップを使ったビールが売られているように恵庭のホップで恵庭だけのビールを作れたらと思う。

●企画課

メーカーにも戦略があり、本当はサッポロクラシックも道内限定だが、ふるさと納税ということで特別に缶ビールのみ取り扱いさせていただいている。ただ、季節限定品のビールはNGと言われており、新しい商品を見かけたら取り扱うことができないか尋ねているが難しく、メーカーさんの戦略と合わないといけない。

○D委員

観光をメインにした返礼品もあるのか。

●企画課

ゴルフ場利用券のように現地で体験してもらうものや、ホテル宿泊のチケットの返礼品もあるが、これらへの申込は恵庭市の中ではランキング上位に入ってくるものではない。

○D委員

恵庭に泊まって、ゴルフして、食事するという体験をパッケージにするのもよいと思う。

●企画課

体験型にシフトしてきているところもあるので、楽天トラベルクーポンだとか、札幌市周辺の自治体で連携して実施する旅先納税にも参画して推進している。

○委員長

本件は専門部会の2次評価と同じようによいか。

<よいの声>

○委員長

では、本件は以上とする。

【その他】

●事務局

次回の委員会は令和7年3月を予定している。

以 上